

環境掲示板

●クリスマスグッズ作り

主催 ごみ対策課

日時 12月1日から19日の開館日
(水・木・土・日)

場所 三鷹市リサイクル市民工房

対象 特になし

定員 なし 無料 申込 直接会場へ

問合せ リサイクル市民工房 0422-34-3196

●植物観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 12月5日(日) 13:00~14:30
1月9日(日) 13:00~14:30

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ 参加費 無料

問合せ 0422-31-9033

●野鳥観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 12月11日(土) 9:00~12:00

1月15日(土) 9:00~12:00

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ 参加費 無料

問合せ 0422-31-9033

●環境映画上映会

編集後記

多くの園芸植物を、安易に植えることは、一見いいように見えるが、地域の生物多様性の視点から見ると、考えるべき点があるようだ。その地域にもともとあった、在来の植物に依存した生き物や微生物との多様な生態系を壊してしまうことにもなりかねない。ころすべきことであるように感じる。(安達)

「HOME～空から見た地球」

主催 環境対策課

日時 12月11日(土) 13:00~15:00
(開場は12:30~)

場所 三鷹駅前コミュニティ・センター

対象 特になし

定員 120名(先着順) 無料

申込 当日の正午より、会場にて入場整理券を配布します。

問合せ 環境対策課 内線 2525

●第66回井の頭かんさつ会

主催 井の頭かんさつ会

テーマ「望年観察会」

春を望む生き物たちの観察

日時 12月18日(土) 14:30~16:30
事前に申込みが必要

参加費 300円

申込み 大原 kapock@parkcity.ne.jp

HP URL <http://www.kansatsukai.net>

●ミニ門松作り

主催 ごみ対策課

日時 12月22日(水)、23日(木)、
25日(土)、26日(日)

場所 三鷹市リサイクル市民工房

対象 特になし、定員 各日6名、 無料

申込 直接又は電話で (先着順)

問合せ リサイクル市民工房 0422-34-3196

発行：みたか環境活動推進会議

(愛称 みんなの環境)

連絡先：三鷹市環境対策課

電話 0422-45-1151 内線 2523・2524

E-mail: kankyo@city.mitaka.tokyo.jp

本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。

みたか環境ひろば 第31号

2010年12月1日発行

三鷹の生物多様性

生き物は、様々な環境に適応して進化し、現在は3000万種とも言われています。生き物には、それぞれの「個性」があり、それらの間には「つながり」があって、進化してきました。生物多様性とは、まさにその全体の状態と考えられています。

生物多様性には、①農地や雑木林などのように、生態系の種類の多様性、②種の多様性、③同じ種内でも、遺伝子の多様性があります。

その生態系は、今、危機に直面しています。それは、①開発や乱獲による種の減少・絶滅、②人の手入れ不足による自然の質の低下、③外来種などの持ち込みによる生態系の攪乱などで引き起こされています。

三鷹には三鷹の生態系があります。都市化が進み武蔵野の雑木林や農地が少なくなってきました。それでも、大沢地区には、オオタカがいます。井の頭公園と玉川上水の地域では、130種ほどの多くの種類の野鳥が観察されています。丸池では、かい掘りの際に、大部分が外来種であることが確認されています。

三鷹の生態系にも、外来生物などの持込による生態系の攪乱が起っています。



生態系の頂点にいるオオタカ



子供も参加した丸池のかい掘りと生き物調査

井の頭公園の池に持ち込まれた外来生物(オオクチバスやブルーギル)が、在来の生物を脅かしています。野川でも、夏にはアレチウリやオオブタクサが繁茂します。この三鷹の生物多様性を、われわれ一人ひとりが理解し、守っていくことが大切です。(安達)

みんなのブックカフェ

～ 世代を超えた地域の交流の場 ～

みんなのブックカフェは、幼い子供から年長者まで誰もが自分の居場所を持つという事を目指して、井の頭一丁目町会事業として、竹上恭子さんが、平成20年に立ち上げた会です。三鷹台児童公園に三鷹市の移動図書館ひまわり号が来るときに、公園内の地区公会堂で絵本の読み聞かせや、ヨーヨー、コマ、竹とんぼ、あやとり、紙風船などを用意し、地域の交流の場所を作っています。また、食用油の廃油を集め、キャンドルを作りキャンドルナイトを催したり、子供に分かりやすいようにオリジナル紙芝居を作り環境活動をするなど幅広い活動をしています。

今回ご紹介するのは、「みたか油田」です。日本で、1年間に約40万トンの油が廃棄され、そのうち20万トンがレストラン、残り20万トンが家庭から出されています。その90パーセント以上がごみとして排出され、環境負荷の一因になっています。

株式会社ユーズは資源循環型社会の創造を掲げ、使用済みてんぷら油の回収、リサイクルを主とする「TOKYO 油田2017」を提唱しています。竹上恭子さんは、それに賛同して、「みたか油田」として、回収ステーションを、三鷹市の32の地区公会堂に設け、回収日に地域の方達が居場所として交流できる



みんなのブックカフェでの紙芝居



廃油を使ったキャンドルナイト

サロンのような場にしたいと提案しています。更に、三鷹を住みよい、いい町にしたいとも言っていました。（森）

「みんなのブックカフェ」成長日記
<http://blog.livedoor.jp/kt000000/>
問合せ先は、090-9202-4939 竹上

みたか環境ひろばの発行

～ 市民の足で集めた情報の提供 ～

本誌みたか環境ひろばは、市民に環境情報を提供することと、環境活動をしている団体や個人の情報共有とコミュニケーションの場を提供することを願って、平成20年6月に第1号を発行して以来毎月欠かさず発行しています。

編集は、最初は2名だけでしたが、平成20年12月から、市民3名、市の担当職員1名の4名が協力して、楽しくすすめています。月1回の編集会議で2ヶ

月後に掲載する記事を検討します。記事は市民が分担して書き、版下も市民が作っています。毎月1000部印刷しています。読者からの反応は、おおむね好意的です。

広く情報を収集するためには、より多くの市民の参加が必要と感じています。関心のある方の参加をお願いしたいと思います。連絡先は環境対策課（市役所内線2523・2524）です。（安達）

三鷹のみち：武蔵野の森公園

野川の飛橋を渡り、まっすぐ西にいくと都立武蔵野の森公園の東門があります。この公園は、三鷹、府中、調布にまたがる土地にあり、調布飛行場に隣接しています。開園は平成12年4月でした。

公園の中に入ると、戦争中に軍が戦闘機を格納していた「掩体壕」があり、その北側には展望台や展望の丘があります。そこからは、調布飛行場の滑走路から離着陸する飛行機を近くで見ることができます。その西には、景修池があります。この池の水は、災害時の生活用水ですが、この池には、バン、カイツブリ、カルガモが住み着き、冬にはヒドリガモも多く来ます。



武蔵野森公園の景修池

西側には、ふるさとの丘があり、南側には滑走路の西側に約1kmのプロムナードがあり、味の素スタジアムや三鷹市大沢総合グラウンドにつながっています。空が大きく広がった散歩道です。（安達）